

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	7008	(H.25)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共下水道事業特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	飯田 玲子	

会計区分	事業コード	007008
公共下水道事業特別会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード	4-5.下水道事業の計画的な推進		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
公共下水道、戸別浄化槽の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。

事業内容
中央処理区及び南部処理区を合わせた公共下水道事業の普及促進に取り組んでいきます。
・名張地区の面整備、住宅団地接続移管及び詳細設計
・接続移管した住宅団地の管路施設老朽化に対し、長寿命化対策を含めた改築事業実施
・南部処理区(住宅団地)の公共管理
・戸別浄化槽の実施計画
・安定した施設の維持管理

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	◎建設費 (H24繰越分 523,400千円)面整備工事(H25現年分 450,718千円)・詳細設計、接続幹線管渠詳細設計等、第2期事業変更認可の事業延伸、全体計画の見直し、面整備、接続幹線管渠工事等、管路施設の老朽化対策事業、他(H26への繰越584,851千円) ◎施設管理費234,067千円・中央浄化センター施設管理、管渠修繕等 ◎総務管理費 18,231千円・システム使用料、料金徴収業務負担金等 ◎戸別浄化槽維持管理費6,187千円◎公債費386,671千円 ◎その他2千円	◎建設費1,313,210千円 ・詳細設計、更新詳細設計、処理場増設実施設計、TV検査、面整備、接続幹線工事、老朽化対策、他 ◎施設管理費438,268千円 中央浄化センター施設管理、管渠修繕、南部住宅地汚水処理施設管理、等 ◎総務管理費24,933千円 システム使用料、料金徴収業務負担金等 ◎戸別浄化槽管理費7,360千円、戸別浄化槽整備費22,472千円 ◎公債費407,143千円◎積立3,358千円◎予備費10,000千円	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・南部処理区公共管理 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・南部処理区公共管理 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・南部処理区公共管理 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	(523,400千円) 1,095,876千円	2,226,744千円	2,132,462千円	2,782,924千円	3,670,434千円
内訳(千円)					
国・県支出金	(222,037) 210,187	544,333	556,533	850,633	1,216,738
地方債	(241,700) 277,000	755,500	570,300	854,700	1,115,700
その他(使用料等)	(59,183) 547,626	468,273	683,610	1,066,099	998,326
一般財源	(480) 61,063	458,638	322,019	11,492	339,670
人工数					
職員	18.00人	18.00人	19.00人	19.00人	19.00人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 154,101千円	153,356千円	144,400千円	144,400千円	144,400千円
①+②総事業費	(523,400千円) 1,249,977千円	2,380,100千円	2,276,862千円	2,927,324千円	3,814,834千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題) 公共下水道第2期事業実施に係る整備区域を766haとして、公共下水道の普及拡大を図って来ましたが、5ヶ年の遅延期間が必要となり、平成25年度末において、平成30年度を目途とする事業延伸を取得しました。また、桔梗が丘地区の民間汚水処理施設の接続移管を行い普及促進を図りました。 処理場施設整備後、経年による処理機器の定期点検、修繕等の維持管理費が増加しました。	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) 第2期事業変更認可に係る事業延伸の取得に基づき、引き続き名張地区市街地の面整備、大規模住宅団地の接続移管並びに接続住宅団地の管路施設の老朽化に対し、長寿命化対策を含めた計画的な改築事業の実施、また、戸別浄化槽の事業実施に取り組んでいきます。 引き続き接続勧奨等加入促進により接続率の向上に努めます。 適正な処理機器の定期点検に努め、安定した施設の維持管理に努めます。
---	--

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	健康で快適な生活環境を形成するとともに、公共水域の水質汚濁を防止し、豊かな自然環境を保全するため、下水道の普及促進に取り組んでいます。 中央処理区の整備区域面積544.0ha、整備人口21,157人、普及率26.0%、面整備率71.0%に達しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	<input type="text" value="継続(現行)"/>
---	-------------------------------------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に係る5ヶ年の整備計画に基づき、事業実施をしていきます。	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画 名張市下水道整備マスタープラン 名張市公共下水道全体計画
---	---